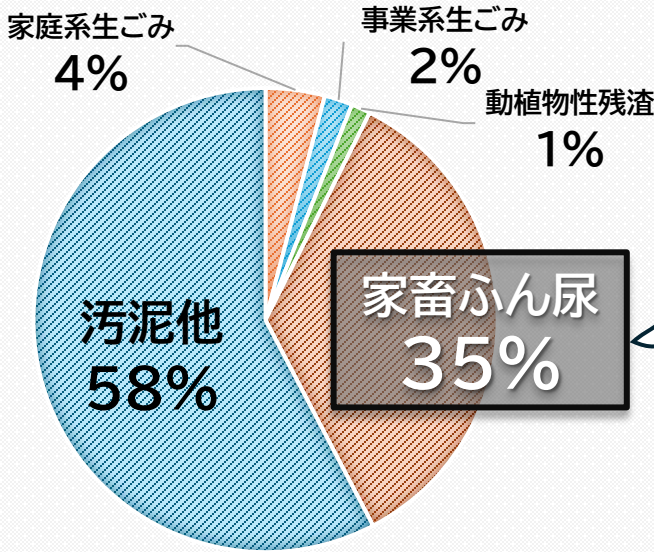


無関心防止法の施行に伴い、感情庁は「食べる責任税」の導入を決定しました。現在、産業廃棄物は増加の一途を辿り、うち有機性廃棄物の占める割合が多いことを問題を感じた人たちが、「有機物が利用されないのは国民一人一人の無関心が原因だ」として、有機性廃棄物の有効活用を訴えました。法律に照らし合わせた結果、再資源化されなかった有機性廃棄物は埋め立て処分され、それらが畜産農家の経済的負担やストレスにつながっていると感情庁は判断。食べる責任税の制定につながりました。関係者の話によると、食べる責任税を活用し、有機性廃棄物は処分場への廃棄から農地で処分へと転換を図り、その運搬費用や堆肥の散布費用等を税金を活用することで有機農法を普及したいと語っています。



年間と殺頭数と概算堆肥量



食べる責任税は、食肉100gあたりの堆肥排出量を計算し、処分代(堆肥化費用や運搬・散布費用等)を食べた人が負担する受益者負担を原則とする税金です。

表 食肉生産で排出される堆肥量 (食肉100gあたり)

食べる責任税の積算根拠となる堆肥排出量

牛の堆肥	豚の堆肥	鶏の堆肥
7.18kg	4.31kg	2.64kg

これは冗談ですが、「こんな未来は訪れない」とは言い切れません

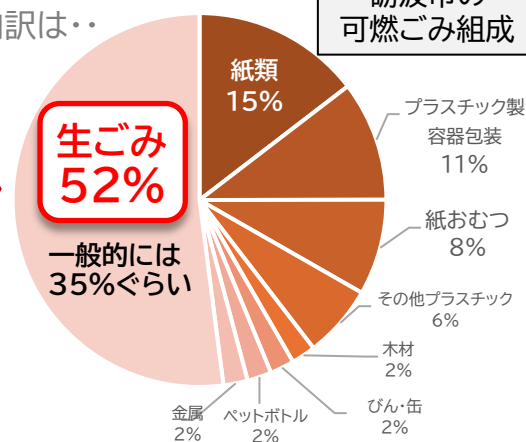
有機物を捨てるのはもったいない!

赤磐市のごみ事情はこんな感じ

ごみ年間総排出量	11,979トン	173位/815市区
1人1日あたりの家庭ごみ排出量	579g	120位/815市区
ごみのリサイクル率	19.6%	345位/815市区

生活ガイド.comより

内訳は..



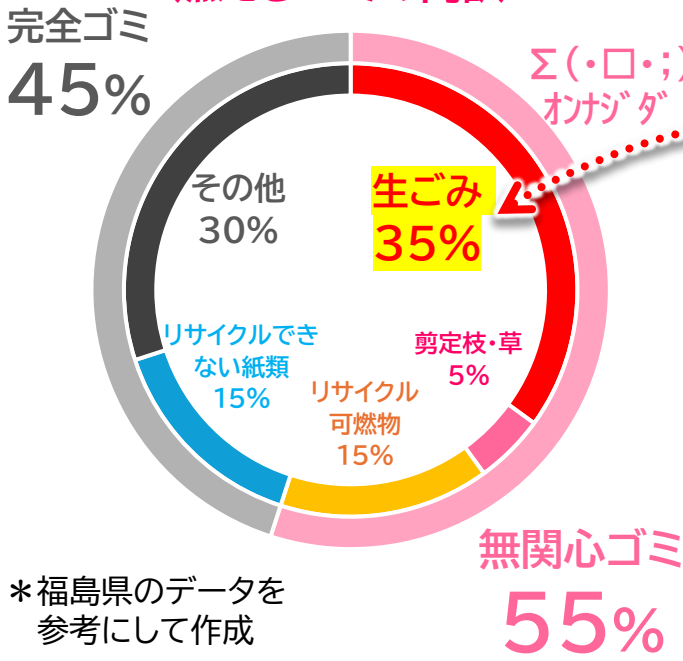
砺波市の可燃ごみ組成

身近なところから[替えて]いこうよ

➔ 「ゴミを資源へ」 有機物の有効活用は国民みんなの責任です

みなさんはこの事実をどのように考えますか？一緒に考えてみましょう！

燃えるゴミの内訳



★完全リサイクルを実現したら★

生ゴミ排出量と同じ

▲35%

ものゴミが減ります

注意

これはフェイク情報です

現 20%



新 55%

現在、最終処分場に運搬  
埋め立てに必要な費用が 年間 4千万円

ごみの量が 埋め立て費用だけで

55%  
減少すると

▲2.2千万円 年間

環境省によると  
ごみ処理費は

国民1人あたり

40円/日

赤磐市民全員のごみ処理費を  
計算すると

6.4億円/年  
(176万円/日)

他にもこんな費用が



工場

や



車両

や



燃料

一体どれだけの無駄があるんだろう？

じゃー、学校給食費に当てはめて考えてみよう！

4億円も違うよ！

学校給食に必要な予算は



1日の給食費

300円/人・日



学校開校日

200日/年

児童・生徒数

4,000人



年間  
2.4億円

「なんだ、無駄をなくせば簡単じゃん！」って思った人、よく考えてみて

赤磐市民 4.4万人 - 児童・生徒 0.4万人 = 赤磐市大人 4.0万人

みんなで負担すれば  
大人1人あたり 6,000円/年  
定食1回分より安い！ (ひと月500円)

みんなが寄付すれば学校給食無償化はすぐできちゃう！でも、だ～れもやらないよ

つまり「身銭は切りたくないけど、社会を良くはしたい」ってことなのかな？

にぼり村でしたいのは

それぞれのちょっとの負担で  
社会に良いことを実現したい  
つまり、身銭を切らなくて全然OK

無駄を省いて資金を作る

生ゴミ処理センターを作る

花や野菜苗

生ゴミ堆肥

市民農園を作る

障がい者や  
ひきこもり者の  
就労支援

有機野菜を  
給食に提供



生ゴミリサイクルの  
取り組み事例